

本科4,5年、専攻科(学士課程)
教育プログラム

履修の手引き

2024

東京都立産業技術高等専門学校

はじめに

東京都立産業技術高等専門学校の専攻科は平成18年度「より深く精緻な知識と技術を教授し、専門分野における研究を指導することにより、総合的実践的技術者を育成する」という‘教育理念’の下に設置されました。修了生は数学・自然科学、専門分野にかかわる基本的な技術と基礎的な知識を持ち、それらを応用して工学的諸問題を解決するとともに、豊かで幅広い教養をもち、国際社会で活躍できる技術者となることが求められています。

さて、眼を日本のものづくりに向けると、現在、第四次産業革命に本格的に突入しており、ものづくりの現場が大きく変わり始めています。第1次産業革命は19世紀のイギリスで起こり、蒸気機関の発明で手作業が「機械化」に変わりました。第2次産業革命は20世紀のアメリカで起こり、電力を使い機械で大量の生産をする「大量生産」になりました。第3次産業革命は20世紀後半、コンピュータの指示に従って自動的に機械を動かす「自動化」となりました。第4次産業革命は21世紀、ドイツやアメリカで起こり、指示をしなくても機械が自分で判断する「自律化」です。これは製造業に限ったものではなく、ものづくりを根本的に変えます。皆さんは、「ものづくり」が根本的に変わる時代に生きていくことになります。約200年の間に人類は産業革命を3回しか経験していません。多くの人はこのような革命的な体験を経験できません。それでは皆さんはどうすればいいのでしょうか？ 本校の学習・教育到達目標に示しているように、まず、それぞれの工学の基礎をしっかりと身に付け、自分で考え、継続して種々の問題解決に協働して取組める力を身に付けることです。流行を追っても足元をすくわれます。落ち着いて勉強しましょう。

令和5年度は、42名が専攻科を修了し、修了生全員が大学改革支援・学位授与機構から学位認定を受け、産業界や大学院への進学など、次の大きな目標に向かって羽ばたいていきました。

皆さんが、専攻科に入学してきた目的を達成するために、「専攻科履修の手引き」を勉学の「道案内」として種々の場面で活用してくれることを望みます。

校長 吉澤 昌純

目 次

アドミッションポリシー

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシー

JABEE「技術者教育プログラム」認定について

I 専攻科の概要

1	専攻科「創造工学専攻」の教育理念	1
2	本校の教育プログラム	1
3	各教育プログラムの育成すべき技術者像	2
4	学習・教育到達目標	3
5	履修について	7
6	教育プログラムの移動について	7
7	本校の本科4学年に編入学した学生の履修について	7
8	他高専本科等から専攻科に入学した学生の履修について	7
9	他の高等教育機関等で取得した単位について	7
	表2 学習・教育到達目標の達成度評価対象と評価基準	8
	表3 各教育プログラムごとの授業科目の流れ図	17
10	年間スケジュール	30

II 専攻科の学業成績評価、教育プログラム修了要件等

1	単位	31
2	学業成績評価・単位修得	31
3	専攻科第1学年から第2学年への進級について	32
4	専攻科・教育プログラム修了要件	32
5	履修手続き・試験	32
6	特別研究	32
7	学位の取得	33

III 修了後の進路

1	就職	33
2	進学	33

IV 専攻科のカリキュラム

1	一般科目	34
2	専門科目	35

V 特例適用専攻科における学位(工学)の取得

1	学位取得のための単位修得	39
2	単位修得の区分	39
3	単位修得の要件(修得単位の審査の基準)	40
4	授与される学位と「専攻の区分ごとの修得単位の審査の基準」	42
5	学位申請の流れ	46
6	学位申請に必要な情報や書類等	46
7	学習総まとめ科目履修計画書の作成	47
8	学習総まとめ科目成果の要旨の作成	49

東京都立産業技術高等専門学校

■ 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

●専攻科

（教育理念）

首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストを育成するために、より深く精緻な知識と技術を教授し、専門分野における研究を指導することにより、総合的実践的技術者を育成します。

（求める学生像）

本校の教育理念に基づいた人材を育成するために、以下の能力と意欲を有する学生を求めています。

- （１）数学や工学に関する基礎知識を有し、より高度な工学を学ぶ能力と意志のある人
- （２）工学について広い視野を持ち、課題に向かって挑戦しようとする意欲のある人
- （３）コミュニケーション能力を身に付け、科学技術を通して国際社会に貢献したい人

（入学者選抜方針）

○学力選抜

学力試験によって高専本科での学習の理解度をみるとともに、面接で高度な工学を学ぶ意欲、及びコミュニケーション能力の有無や各コースが求める要件を満たすか否かを総合的に判断します。

○推薦選抜

推薦書、調査書により、高専本科での学習の達成度をみるとともに、面接で高度な工学を学ぶ意欲、及びコミュニケーション能力の有無や各コースが求める要件を満たすか否かを総合的に判断します。

東京都立産業技術高等専門学校

■ 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

●専攻科

本校においては、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得させるために、機械工学コース、電気電子工学コース、情報工学コース及び航空宇宙工学コースの教育課程を編成します。一般科目は8単位以上、各コースの専門科目54単位以上（必修科目20単位以上とその他の科目34単位以上）を修得できるように科目を配置しています。

◇教育課程の方針

- (1) 高専の準学士課程教育で修得した学力を基礎として、幅広い教養と国際的視野を涵養するために語学関連科目、数学関連科目及び社会・経済関連科目などの一般共通科目を編成する
- (2) 首都東京の産業振興や課題解決を技術的観点から取り組むための専門共通科目を編成する
- (3) 各専門分野で高度なものづくり技術を修得するために、専門科目を編成する
- (4) 課題解決型の学習を行うために、専門必修科目としてエンジニアリング・デザイン、専攻科インターンシップ、専攻科ゼミナール、専攻科特別研究Ⅰ,Ⅱを編成する

◇実施方針

- ①「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力が、各教育課程でどのように養成されるかを学生が把握できるように、シラバスに修得できる能力を示している。
- ②成績評価の公正性と透明性を確保するために、各科目の到達目標に対する達成度を目安として採点し、客観的な評価を行う。

◇成績評価

- ①シラバスに示す評価方法に基づいて実施する。
- ②成績は100点法により採点し、学修の評価は以下の区分による表記で行う。

評 点	100～80	79～70	69～60	59～0
評 語	A	B	C	D
合 否	合格			不合格

東京都立産業技術高等専門学校

■ 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

●専攻科

本校の使命である「首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成」の下で、より深く精緻な知識と技術を教授し、専門分野における研究を指導することにより、総合的実践的技術者を育成するために、専攻科の教育課程において、厳正な成績評価のもと、所定の単位を修得し、次の能力を在学中に身に付けた学生に対して修了を認めます。

- (1) 自主的・計画的・継続的に学習する能力
- (2) 協働してものづくりに取り組んだり国際社会で活躍したりするために、論理的に思考し、表現する能力
- (3) 産業界や地域社会、国際社会に貢献するために、豊かで幅広い教養をもち、技術者として責任ある思考と行動ができる能力
- (4) 数学・自然科学・自らの専門とする分野の基本的な技術と基礎的な理論に関する知識をもち、工学的諸問題にそれらを応用する能力
- (5) 専門知識を応用して問題を解決する能力
- (6) 工学的な立場から地球的視点で社会に存在する問題を発見し、発見した問題を解決する能力

JABEE「技術者教育プログラム」認定について

本校は東京都の産業振興や課題解決に資する「ものづくりスペシャリスト」の育成を使命としています。開校して以来、グローバル化が進む社会に対応すべく様々な教育の取組を進めて参りました。その中で、日本技術者教育認定機構（JABEE*）の教育プログラム認定を受審すべく、2013年度より専門部会を設置し、2021年度の審査により適合していると認定されました。

この認定を受け、2019年度入学の専攻科卒業生より技術士国家試験の一次試験免除が認められます。

今回の認定は本校の教育改善活動と教育質保証が国際的な基準で認められたことを意味しています。今後も継続的な教育改善活動により、より質の高い教育環境の構築を目指して努力していきます。

*JABEEとは

日本技術者教育認定機構（JABEE : Japan Accreditation Board for Engineering Education 1999年11月19日設立）は、我が国の技術者教育の内容・水準の国際的な同等性を確保するため、技術系学協会と密接に連携しながら、技術者教育プログラムの認定・審査を行う一般社団法人です。
--

I 専攻科の概要

1 専攻科「創造工学専攻」の教育理念

より深く精緻な知識と技術を教授し、専門分野における研究を指導することにより、総合的実践的技術者を育成する

2 本校の教育プログラム

本校は、首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成を使命として、グローバル化に対応した国際的に活躍できる総合的実践的技術者の育成を目指して、4つの「教育プログラム」と各教育プログラムごとの「育成すべき技術者像」、「学習・教育到達目標」を定め教育を行います。

教育プログラムは、機械工学プログラム、電気電子工学プログラム、情報工学プログラム、そして創造システム工学プログラムの4つからなり、本科4学年次から専攻科2学年次までの4年間にわたり実施されます。

本科4・5年	専攻科1・2年	
機械システム工学コース		機械工学プログラム
生産システム工学コース		
電気電子工学コース		電気電子工学プログラム
電子情報工学コース		電気電子工学プログラム 情報工学プログラム
情報通信工学コース	専攻科	創造システム工学プログラム
ロボット工学コース		
航空宇宙工学コース		
医療福祉工学コース		

3 各教育プログラムの育成すべき技術者像

各教育プログラムごとに下記の育成すべき技術者像を定めています。

品川キャンパス

機械工学プログラム

機械工学の基盤となる専門知識と、ものづくりの総合的技術・技能に関する実践的応用力を有し、問題発見・分析・解決能力を発揮して、産業界のニーズに的確に応え国際的に活躍する機械技術者を育成する。

電気電子工学プログラム

現代社会は電気電子技術なしでは成り立つことはできません。世の中は電気電子技術を使用した機器であふれています。しかし、地球環境の保全、限られた資源の有効利用の必要性が高まる中で、エネルギー、エレクトロニクスの各技術だけではなく、これらを統合することで高度知能化・高集積化を可能にする情報・制御技術も必要になります。電気電子工学プログラムでは環境・クリーンエネルギー、エレクトロニクス、情報・制御の分野で活躍できる高度なものづくり技術を修得した技術者を育成します。

情報工学プログラム

情報インフラは、重要な社会基盤の 1 つです。これらの情報インフラを支えるためには、情報学および数理情報の基礎知識、およびこれら基礎知識を活用する能力が必要です。すなわち、コンピュータ・サイエンスに関する基礎力および実践力が必須です。情報工学プログラムでは、コンピュータ・サイエンスに関する基礎力・実践力を有し、次世代の情報システムを牽引する技術者を育成します。

荒川キャンパス

創造システム工学プログラム

グローバル化した社会において、高度化、複合化した工学分野の諸問題を解決して「ものづくり」を行うために、基礎となる機械工学技術、電気電子工学技術とそれらを結ぶ情報システム技術について深い専門性を養いつつ、先進的な他の分野の知識と技術を身に付けます。創造システム工学プログラムでは、このような複合的な教育を行うことにより、多角的な視野から問題を解決する能力を備えた創造力豊かな、世界に通用する「ものづくり技術者」を育成します。

4 各教育プログラムの学習・教育到達目標

本校の教育プログラムは、各教育プログラムごとに表1に示す学習・教育到達目標を基に、本科でのエンジニアに必要な基礎教育から、専攻科での、より深く精緻な知識と技術の教授と、専門分野における研究の指導により、科学技術の高度化、複合化に対応できる応用力、創造力を有した総合的実践的技術者の育成を目指して設計されています。

表1. 学習教育到達目標

機械工学プログラム

学習・教育到達目標の大項目	学習・教育到達目標の小項目	関連する知識・能力観点(a)-(i)の項目	関連する知識・能力観点(a)-(i)との対応
(A) 【学習力】 総合的実践的技術者として、自主的・継続的に学習する能力	(A-1)学習計画を立てる力	(g)	◎
	(A-2)学習計画に基づいて学習する力		
	(A-3)学習計画を評価し、改善する力		
	(A-4)継続的に学習する力		
(B) 【コミュニケーション力】 総合的実践的技術者として、協働してものづくりに取り組んだり国際社会で活躍したりするために、論理的に考え、適切に表現する能力	(B-1)論理力(論理的に考える力、論理的に表現する力)	(f)	◎
	(B-2)プレゼンテーション力		
	(B-3)ディスカッション力		
	(B-4)語学力		
	(B-5)協働力	(i)	◎
(C) 【人間性・社会性】 総合的実践的技術者として、産業界や地域社会、国際社会に貢献するために、豊かな教養を持ち、技術者として社会とのかかわりを考える能力	(C-1)豊かな教養を獲得する力	(a)	◎
	(C-2)技術者倫理	(b)	◎
	(C-3)社会に対する技術者の役割を考える力	(b)	◎
(D) 【基礎力】 総合的実践的技術者として、数学・自然科学及び情報技術の教養を有する力と、自らの専門とする分野の基本的な技術と基礎的な理論に関する知識を習得する力	(D-1)数学力	(c)	◎
	(D-2)自然科学力・情報技術	(c)	◎
	(D-3)専門的な基礎力	(d)	◎
(E) 【応用力・実践力】 総合的実践的技術者として、専門知識を応用し問題を解決する能力	(E-1)基礎的な専門知識を応用する力	(d)	◎
	(E-2)与えられた制約下で作業する力	(h)	◎
	(E-3)与えられた課題に対する解決方法をデザインする力	(e)	◎
	(E-4)チームで作業する力	(i)	◎
(F) 【創造力】 総合的実践的技術者として、工学的立場から地球的視点で社会に存在する問題を発見し、発見した問題を解決する能力	(F-1)自らの力で問題を発見する力	(a) (b)	◎ ◎
	(F-2)問題を解決する力	(e)	◎
	(F-3)問題解決手法を説明する力	(f)	◎
	(F-4)主体的に研究を遂行する力	(h)	◎

JABEEの知識・能力観点

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
- (c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

電気電子工学プログラム

学習・教育到達目標の大項目	学習・教育到達目標の小項目(注)	関連する知識・能力観点(a)～(i)の項目	関連する知識・能力観点(a)～(i)との対応
(A) 【学習力】 総合的実践的技術者として、自主的・継続的に学習する能力	(A-1) 学習計画を立てる力	(g)	◎
	(A-2) 学習計画に基づいて学習する力		
	(A-3) 学習計画を評価し、改善する力		
	(A-4) 継続的に学習する力		
(B) 【コミュニケーション力】 総合的実践的技術者として、協働してものづくりに取り組んだり国際社会で活躍したりするために、論理的に考え、適切に表現する能力	(B-1) 論理力（論理的に考える力、論理的に表現する力）	(f)	◎
	(B-2) プレゼンテーション力		
	(B-3) ディスカッション力		
	(B-4) 語学力		
	(B-5) 協働力	(i)	◎
(C) 【人間性・社会性】 総合的実践的技術者として、産業界や地域社会、国際社会に貢献するために、豊かな教養を持ち、技術者として社会とのかかわりを考える能力	(C-1) 豊かな教養を身に付ける力	(a)	◎
	(C-2) 技術者倫理	(b)	◎
	(C-3) 社会に対する技術者の役割を考える力	(b)	◎
(D) 【基礎力】 総合的実践的技術者として、数学・自然科学の教養を有する力と、自らの専門とする分野の基本的な技術と基礎的な理論に関する知識を習得する力	(D-1) 数学力	(c)	◎
	(D-2) 自然科学力	(c)	◎
	(D-3) 専門的な基礎力	(d)	◎
(E) 【応用力・実践力】 総合的実践的技術者として、専門知識を応用し問題を解決する能力	(E-1) 基礎的な専門知識を応用する力	(d)	◎
	(E-2) 与えられた制約（人・機材・予算・時間が限られている条件）下で作業する力	(h)	◎
	(E-3) 与えられた課題に対する解決方法をデザインする力	(e)	◎
	(E-4) チームで作業する力	(i)	◎
(F) 【創造力】 総合的実践的技術者として、工学的立場から地球的視点で社会に存在する問題を発見し、発見した問題を解決する能力	(F-1) 自らの力で問題を発見する力	(a)	◎
		(b)	◎
	(F-2) 問題を解決する力	(e)	◎
	(F-3) 問題解決手法を説明する力	(f)	◎
	(F-4) 研究を遂行する力	(h)	◎

JABEEの知識・能力観点

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
- (c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

情報工学プログラム

学習・教育到達目標の大項目	学習・教育到達目標の小項目	関連する知識・能力 観点(a)-(i)の項目	関連する知識・能力 観点(a)-(i)との対応
(A)【学習力】 総合的実践的技術者として、自主的・継続的に学習する能力	(A-1)学習計画を立てる力	(g)	◎
	(A-2)学習計画に基づいて学習する力		
	(A-3)学習計画を評価し、改善する力		
	(A-4)継続的に学習する力		
(B)【コミュニケーション力】 総合的実践的技術者として、協働してものづくりに取り組んだり国際社会で活躍したりするために、論理的に考え、適切に表現する能力	(B-1)論理力(論理的に考える力、論理的に表現する力)	(f)	◎
	(B-2)プレゼンテーション力		
	(B-3)ディスカッション力		
	(B-4)語学力		
	(B-5)協働力	(i)	◎
(C)【人間性・社会性】 総合的実践的技術者として、産業界や地域社会、国際社会に貢献するために、豊かな教養を持ち、技術者として社会とのかかわりを考える能力	(C-1)豊かな教養を身に付ける力	(a)	◎
	(C-2)技術者倫理および情報セキュリティ・情報倫理	(b)	◎
	(C-3)社会に対する技術者の役割を考える力	(b)	◎
(D)【基礎力】 総合的実践的技術者として、数学・自然科学の教養を有する力と、自らの専門とする分野の基本的な技術と基礎的な理論に関する知識を習得する力	(D-1)数学力	(c)	◎
	(D-2)自然科学力	(c)	◎
	(D-3)専門的な基礎力	(d)	◎
(E)【応用力・実践力】 総合的実践的技術者として、専門知識を応用し問題を解決する能力	(E-1)基礎的な専門知識を応用する力	(d)	◎
	(E-2)与えられた制約(人・機材・予算・時間が限られている条件)下で作業する力	(h)	◎
	(E-3)与えられた課題に対する解決方法をデザインする力	(e)	◎
	(E-4)チームで作業する力	(i)	◎
(F)【創造力】 総合的実践的技術者として、工学的立場から地球的視点で社会に存在する問題を発見し、発見した問題を解決する能力	(F-1)自らの力で問題を発見する力	(a) (b)	◎ ◎
	(F-2)問題を解決する力	(e)	◎
	(F-3)問題解決手法を説明する力	(f)	◎
	(F-4)研究を遂行する力	(h)	◎

JABEEの知識・能力観点

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
- (c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

創造システム工学プログラム

学習・教育到達目標の大項目	学習・教育到達目標の小項目	関連する知識・能力観点(a)-(i)の項目	関連する知識・能力観点(a)-(i)との対応
(A)【学習力】 総合的実践の技術者として、自主的・継続的に学習する能力	(A-1)学習計画を立てる力	(g)	◎
	(A-2)学習計画に基づいて学習する力	(g)	◎
	(A-3)学習計画を評価し、改善する力	(g)	◎
	(A-4)継続的に学習する力	(g)	◎
(B)【コミュニケーション力】 総合的実践の技術者として、協働しても のづくりに取り組んだり国際社会で活躍し たりするために、論理的に考え、適切に 表現する能力	(B-1)論理力(論理的に考える力、論理 的に表現する力)	(f)	◎
	(B-2)協働力	(i)	◎
	(B-3)プレゼンテーション力	(f)	◎
	(B-4)ディスカッション力	(f)	◎
	(B-5)語学力	(f)	◎
(C)【人間性・社会性】 総合的実践の技術者として、産業界や地 域社会、国際社会に貢献するために、豊 かな教養を持ち、技術者として社会との かかわりを考える能力	(C-1)社会に対する技術者の役割を考え る力	(b)	○
	(C-2)技術者倫理	(b)	◎
	(C-3)様々な視点から物事を考える力	(a)	◎
(D)【基礎力】 総合的実践の技術者として、数学・自然 科学・自らの専門とする分野の基本的な 技術と基礎的な理論に関する知識をも ち、工学的諸問題にそれらを応用する能 力	(D-1)数学力	(c)	◎
	(D-2)自然科学力	(c)	◎
	(D-3)情報技術	(c) (d)	◎
	(D-4)専門的な基礎力	(d)	◎
(E)【応用力・実践力】 総合的実践の技術者として、専門知識を 応用し問題を解決する能力	(E-1)基礎的な専門知識を応用する力	(d)	◎
	(E-2)与えられた制約下で問題を解決す る力(デザイン力)	(h) (e) (i)	◎
(F)【創造力】 総合的実践の技術者として、工学的立場 から地球的視点で社会に存在する問題を 発見し、発見した問題を解決する能力	(F-1)問題を発見する力	(a) (b)	◎
	(F-2)問題を解決する力(実行力)	(d) (g) (h)	◎
	(F-3)問題解決手法を公開する力	(f)	◎
(他)【創造システム教育プログラム固有: 融合・複合】融合・複合分野により問題を 解決する能力		(a) (b) (c) (d) (h)	◎

JABEEの知識・能力観点

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
- (c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

学生は、専攻科で開設している機械工学、電気電子工学、情報工学、航空宇宙工学の4つの専門分野から、自分の研究との関連や関心のある科目を選択して修得できます。また、様々な専門分野の科目を履修することで高度な専門知識及び技術を修得し、研究を通じて問題解決能力やリーダーとしての資質・能力が養われます。

専攻科修了生は、大学改革支援・学位授与機構（以下、「学位授与機構」とする。）の審査を経て、学士（工学）の学位を授与され、大学院への入学資格を得ることができます。

5 履修について

本教育プログラムの教育期間は、本科4学年から専攻科2学年までの4年間とし、本科3学年次で各教育プログラムの説明をします。

学生は本科の所属するコースに応じて2ページに示す教育プログラムの履修生となります。電子情報工学コースの学生のみ、電気電子工学プログラムか、情報工学プログラムを選択することになりますが、本科4学年の時点では選択の保留ができ、専攻科1学年にて選択を確定します。ただし、保留する場合は本科4、5学年にて、両方の教育プログラムが求める学習・教育到達目標の担保科目を修得しておく必要があります。なお、専攻科に進学した段階で、書面にて所属する教育プログラムの継続・選択の確認を行います。

履修生は、9ページ～17ページ 表2に示す各教育プログラムにて定められた基準を満たすことにより、学習・教育到達目標が達成されます。18ページ～30ページ 表3に授業科目の流れ図を示します。

6 教育プログラムの異動について

本教育プログラムでは、教育プログラムの異動は認めていません。

7 本校の本科4学年に編入学した学生の履修について

第4学年に編入学後の履修ガイダンスの際に各教育プログラムの説明をします。それ以外については、「5 履修について」と同じです。

8 他高専本科等から専攻科に入学した学生の履修について

本校以外的高等専門学校本科および短大等の卒業生が本校専攻科に入学した場合、原則、所属した学科のカリキュラムに近い教育プログラムを選択することになり、入学後、次の手続きを取ります。

- ① 教育プログラムを確認する。
- ② 本科および短大等で取得した科目を、特例適用専攻科の学位取得のための科目表の科目に読み替える申請を、大学改革支援・学位授与機構にする。
- ③ 読み替えられた科目の評価は「合格」とする。
- ④ 本科4、5学年の教育プログラムの学習・教育到達目標の担保科目に不足がある場合、該当する不足科目について科目認定試験を受ける。

9 他の高等教育機関等で取得した単位について

本校以外的高等教育機関等で取得した単位の扱いは、東京都立産業技術高等専門学校専攻科学外学修単位認定規則に決まっています。また、学生の申請により、特例適用専攻科の学位取得のための科目表の科目に読み替える申請を大学改革支援・学位授与機構に対して行います。読み替えた科目の評価は「合格」とします。